

# 方言で知る 奄美の観光スポット

## 奄美パーク

奄美の自然文化歴史んきやば紹介しゅん「奄美の郷」とう、日本画家田中一村の作品を展示されとん「田中一村記念美術館」のたーちの施設からなる観光拠点施設だりよとと。

奄美の自然文化歴史を紹介する「奄美の郷」と、日本画家田中一村の作品を展示している「田中一村記念美術館」の2つの施設からなる観光拠点施設です。

奄美市

## 徳浜の断崖

なまら、800年ぶえりむえぬう、おどさんねいし断層ぬう、づうれいていでけたんちい、いやとよりうりい。くうん断層や瀬戸内の太平洋びんたがでえぬでいてい、岩やはしとんまこわさんがんしい、おうわつとんちど。

今から、800年程前の鎌倉時代に、起きた大地震によって断層がずれてきたと言われています。この断層は、瀬戸内町の太平洋側まで伸びており、大変堅強な岩に覆われています。

大和村

## 湯湾岳展望公園

展望台からや世界自然遺産かち登録すいらつたん山ちば、宇検村ぬ焼内(えーち)湾ば見渡しゅんくとうぬでくいゆい。空気ぬ澄どうてい、リフレッシュすいられいん場所じゃんから、やじんうもうちたばれ。

展望台からは、世界自然遺産に登録された山や、宇検村の焼内湾を見渡すことができます。空気が澄んでいて、リフレッシュできる場所なので、ぜひお越しください。

宇検村

## 油井岳から見た大島海峡

がっし景色ぬいっちゃん大島海峡ばはさでい、加計呂麻島・請島・与路島・たりむうらん島ぬんきやが、はしはらはしみりゅんくとうぬでくいてい、ていだぬうていゆんちきんにや、がっしきゆらさてい、油井岳はらみりゅん大島海峡や奄美十景ぬていていなんえらばとん景勝地ちば。

風光明媚な大島海峡をはさんで、加計呂麻島・請島・与路島・無人島などが一望でき夕陽や夕景が美しく、油井岳から見た大島海峡は奄美十景のひとつに選ばれている景勝地である。

瀬戸内町

## ハートロック

ホーグ ヒギヤガワ シュ  
赤尾木の東側、太平洋ぬ海んぶちななんてい、潮の引きゆん時だけ見れんハート型の潮だまり。あまーち行きば、男女がくつかりゆんち言んうわさがたち、撮たん写真ば、携帯ぬ待ち受け画面ちするば、いいゆんちなりゆんちどー。  
「はげー、うらやましかー…♡」

赤尾木集落の東側、太平洋に面する海岸にあり、干潮の時だけに姿を現すハート型の潮だまり。恋愛のパワースポットとして話題になり、撮った写真を携帯電話の待ち受けにすると恋が叶うとか。

龍郷町

## ガジュマル巨木

ていーづくにあん、がんまらーひいーや、ゆだはりむゆたさてい、じんとーじむ、むるうびさんひいーつち。  
うんひいーや、100歳あまるんちどー。

手久津久集落にあるガジュマルの木は、枝張りもよく、喜界島内のガジュマルの中でも、ひときわ大きなものです。この木の樹齢は100年を超えると推測されています。

喜界町

## タキンシャ

亀津大瀬川を約2kmぬぶていじか、島なやむいじらつか、滝ぬあてい、昔やふつちゆまわれま暑さしのぎぬこーあしびしゅーたいが。握り飯やていむつち やーにんじ・どうしんきや揃ていあしでいつちかいきやしが?

亀津大瀬川を約2km上った所に、島では珍しい高さ10mほどの滝があり、かつては老若男女が夏の涼を求めて川遊びをしていました。おにぎりでも持って家族・友人で出かけては…。

徳之島町

## 陸の中の海「ウンブキ」

さきぬ、うんかちちじきゆん、うんぬそこぬがまだれん。日本なんてい、一番ふてん、うんぬなぬ、鍾乳洞。ふかなんていや、にーならん、(うんぶきあなご)まふれゆんど。こーりむかしぬ、(どき)まいじていちゃんど。

400年前の海と繋がる未知の海底洞窟。総延長1kmに達する日本最大級の水中鍾乳洞です。国内初記録のウンブキアナゴや古い時期に製作された土器も発見されています。

天城町

## 喜念浜

伊仙ないー一番ふていあうんぬ喜念浜。ゆうくわあししやあり、うーじやりしゅんほか、とろうしあつかしまにやありゆんど。ログハウスまあんむなていとうまりまなりゆり。

伊仙町で一番大きな海岸の喜念浜。釣りや海水浴の他、闘牛の散歩も見ることができます。ログハウスもあり宿泊も可能です。

伊仙町

## 日本一のガジュマル

国頭小学校ぬ第1期生が卒業記念にういたぬがじまる。なー120歳むなゆむでゆーさ。ふでいたぬゆだははさをひゆーぎたぬぐとうしみやーゆん。やはらたーまわらんちやがふでいゆしみゆんどー。

国頭小学校の第1期生が卒業記念に植樹したガジュマルです。樹齢120年以上で、枝張りは22mもあります。傘を広げたような優しい姿で子ども達の成長を見守っています。

和泊町

## ジッキョヌホー

ジッキョヌホーは、昔から、ぬみみじ、めー炊きゆしむ、風呂にむ、洗濯にむ、牛浴みにむ、ちこらていきちゃん。なまむ、じっきよぬ宝でいち、ちらぎでーじにちこらとん。

この湧水は、生活用水として人々の生活(飲み水、炊飯、洗濯等)を支えてきた。現在も瀬利覚の宝として大事に使われています。(H20年に環境省「平成の名水百選」に認定。)

知名町

## 与論城跡

ゆんぬぐすくあとうや ゆんぬぬ ペんがたにあゆるしるあとうえーしが なもー 神社とうあしびどうるかてい なていあびゆん。  
城ぬいしじやきながぬこーていあてい島ぬいんがたや やんばるながしつかいゆたく みやーりゆーる とうるえーびゆん。

与論城跡は与論島の南側にある城跡で、現在は神社や公園になっています。城を取り囲む石垣が残っており、島の西側一帯や沖繩島を望むことができます。

与論町

方言は集落により異なります。掲載している方言は、大島地区の市町村教育委員会からの回答を基に作成しました。

大島地区文化協会連絡協議会～2月18日は大島地区の「方言の日」です～

(事務局：鹿児島県大島支庁総務企画課 〒894-8501奄美市名瀬永田町17番3号 TEL 0997-57-7218)

